



「全国学力・学習状況調査」の結果と分析をお伝えします。

4月に6年生が受検した「全国学力・学習状況調査」について、本校の結果が届きましたので、本校の傾向と課題、今後に向けた取組等についてお知らせします。

令和8年度全国学力・学習状況調査 早わかり Q&A

Q:調査の目的は何？

A:児童への教育指導の充実のため、学習状況の改善等に役立てるため です。

※ 国が平成19年度から6年生を対象に実施している調査です。

Q:今年度の実施期日は？

A:本校では4月23日に「教科調査」、4月24日に「児童質問紙による調査」が、それぞれ行われました。

Q:調査内容は何？

A:「教科調査」と「児童質問紙による調査」です。今年度の教科調査は、国語と算数が実施されました。

Q:教科調査は、どのような内容？

A:小学校5年生までに学習した内容です。

「基礎的な知識・技能等」、「知識・技能を実生活の場面に活用する力」、「課題解決のための構想を立てて実践し評価・改善する力等」に関わる内容です。

Q:問題形式は？

A:選択式、短答式、記述式の3種類です。記述式は、複数の考え方、答え方があるものについて出題しています。

1 教科調査（国語・算数）では、このような力がついているか問われました。



国 語

- ① 相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えるとともに、資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫する力。
- ② 筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えるとともに、引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する力。
- ③ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる力。

算 数

- ① 立体図形について、図形を構成する要素に着目し、図形の計量や図形の構成の仕方を考察する力。
- ② 問題場面の数量の関係に着目し、二つの量の割合として捉えられる数量の関係について考察する力。
- ③ 数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目し、小数や分数の数の大きさについて考察する力。
- ④ 日常生活の問題を解決するために、目的に応じて、表やグラフを読み取り、見いだしたことを表現する力。

2 教科調査（国語・算数）における本校の傾向と今後の取り組み

国語 県及び全国の平均を3%程度上回る結果となりました。

問題別にみると、「漢字を文の中で正しく使うことができる」に関する問題について正答率が高く、これまでの学習成果があがっていることが分かりました。その一方で、「目的に応じて、必要な情報を見付けることができる」に関する問題がやや不得手でした。文章の中から必要な情報を取捨選択したり、整理したり、再構成したりすることが難しかったようです。

そこで、今後も……

- ☞ 文章を読む学習などにおいて、その文章の目的や機能を考える活動を増やしていきたいと思います。文章の特徴を理解するために必要な語句を丸で囲んだり、関係する語句と語句を線でつないだり、文章に直接書き込んだりするなど、目的に応じて、必要な情報を整理できるように授業改善を行います。

算数 県及び全国の平均を3～5%程度上回る結果となりました。

問題別にみると、「体積の計算による求め方について理解しているかどうかをみる」と「整数と小数の減法の計算をすることができる」に関する問題について正答率が高く、これまでの学習成果があがっていることが分かりました。その一方で、「体積の意味について理解しているかどうかをみる」に関する問題がやや不得手でした。立方体の体積の計算による求め方については理解しているが、なぜその求め方をするのかなどの理解に課題があるようです。体積に限らず他の分野でも同様の傾向が見られます。

そこで、今後も……

- ☞ ただ計算を解くだけでなく、応用問題に積極的に取り組めるような活動を増やしていきたいと思います。なぜその式や表、図形になるのかなどの理解を深めるために、具体物を用いて視覚的に理解できるように授業改善を行います。



3 「生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査」における本校の傾向と今後の取り組み

○全国と比較して特徴の見られるもの

よい傾向であると思われる項目については○、課題があると思われる項目については▼で示しています。

質問項目	評価
自分には、よいところがあると思う。	○
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。	○
人が困っているときは、進んで助けている。	○
困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる	○
あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校での活動でプレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができると感じていますか。	○
5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。	○
学級会における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる。	○
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか。	▼
学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか	▼

○本校の傾向と今後の取り組み

全国と比較して良好な結果でした。子供たちが、5年間で培った自信を胸に「理想の6年生」を体現している姿が浮かんできました。2学期以降の学校行事や学年行事、日頃の学校生活における活躍が楽しみです。今後は、来年の中学校生活もイメージさせながら、指導していきます。

4 結びに

本校では、子供にとって「楽しい学校」となるように、「心の居場所のある学級」で、「学ぶ喜びを実感できる授業」を展開することを第一としています。そのために、教師は児童の成長を促す言葉かけを意図的に行いつつ、行事等を通した「集団の成長」と、授業や係・当番活動を通した「個の成長」の相互作用を意識した指導支援を行っています。今後も、日々の積み重ねの中で児童がよりよく成長できるよう努めていきます。